

一般用

ごあいさつ

日本サーバス中国四国支部長 U.T.

5月16日に開催した支部会は、オンラインの良さを生かして、N会長にお越しいただきケニアの興味深い話で盛り上がりました。3月の国内会議もオンラインで行われました。コロナ禍がきっかけとはいえ、IT化の波に遅れがちだった日本もその速度を増しつつあります。サーバスの名簿も紙媒体からSOL（サーバスオンライン）に移行し、便利さを享受すると同時に安全性を確保するための高額な予算が必要となりました。このたび国際サーバスの財政に関する遠隔投票の議案について考えることで、あらためてサーバスの組織やその存在意義に注目することになったと思います。平和を願うサーバスの灯を絶やしたくないという気持ちを新たにしました。

今月号はもうひとつ「コロナ禍で始めたこと」というテーマで寄稿してもらいました。ものごとには両面あります。コロナ感染症は決して望むことではないけれど、おうち時間を大切にするという生活の別の側面が浮上してきたように思います。私も今、生活の見直しをはかっているところです。支部では、ひとりでもできて、なおかつチームとして制作する「バーチャル碑巡り」の企画を進めることになりました。今できることをしながら、コロナが収束する日を待ちましょう。



8月のヒル・トップ（英国：湖水地方）

本号の内容

- 1 ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ U.T.
- 2 第 42 回国内会議に参加して・・・・・・・・・・・・ U.S.
- 3 5月16日の支部会に参加して・・・・・・・・・・・・ H.T.
- 4 コロナ禍で始めたこと・・・・・・・・・・・・ N.M.・M.T
- 5 新入会員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ K.T・T.M
- 6 お知らせとお願い・・・・・・・・・・・・ S.Y

2 第 42 回日本サーバス国内会議 (2021 年度オンライン) に参加して

U.S.

2019 年までは毎年、各支部廻りで国内会議が開催されてきました。その最後が私たちの中国四国支部での開催でした。中国四国支部での開催にあたっては、サーバス役員の方々の多大なるご尽力のお陰で、中国四国支部会員の更なる強い団結力も生まれ、記憶に残る心温まる国内会議となりました。

第 41 回の国内会議で、毎年開催されていた国内会議は 2 年おきに担当支部持ち回りの運営に決まったのです。しかも、2 年後の今年はコロナ禍ということで、オンラインでの開催となりました。

初めてのこのような大きな試みにあたり、日本サーバス会長、役員の方々、近畿支部長、担当者の方々の大きなご努力とご協力の賜物で、全ての議題がスムーズに進行されたことに、心より感謝の意を表します。本当に素晴らしい国内会議になりました。私自身は 2 年前お会いした方々に Zoom でお会いできるのであればと思い、オブザーバーとして参加させて頂きましたが、他支部の方々にお会いでき、懐かしく感じました。発言しないでずっと座っていることは疲れますが、各議題に対する質問への説明を聞いていますと、サーバス運営の中身をより深く理解できました。今回のような Zoom での会議は経費・時間の節約もでき、容易に参加できるのではないのでしょうか。参加人数の制限はありますが、参加希望をされることをお勧めします。もっとサーバスを身

近に感じ、活動への意欲が湧いてくると思います。コロナ終焉後もオンライン会議の可能性を願っています。

すでに「議案書」「質問票」「議事録」をお読みになられていると思いますので、国内会議の流れを少し補足説明させて頂き、私の感想などを書かせて頂きます。

1. 「議案書」

○1ヶ月前には「議案書」並びに「質問票」の要項が送られてきましたので、しっかり、内容確認をして、参加することができました。

○この資料作成には多くの時間をかけられたと想像しますが、大変分かりやすくまとめられていたので、充分理解できました。

2. 「質問票」

○「質問票」に関してのみの討議だったので、時間を大幅に短縮でき、効率よく全ての内容を議論でき、良かったです。

○M 議長の巧みな会議進行のお陰で、土曜日のみで国内会議を終了することができました。

3. 「開始時間」・「休憩時間」・「終了時間」・「フリートーク」

○午後1時に開始、午後2時45分までが前半。その後15分の休憩。午後3時から15分間、国際サーバス会長 J.S.氏のトークを聞き、サーバスの国際性を感じました。

○午後3時15分から午後4時45分まで後半の会議となりました。

・終了間際に補足討議として、各支部の会費徴収並びに現況報告などがありました。

・新旧会長の挨拶：「『サーバスの火を消さないため』という気持ちが支えになっている」というお二人のお言葉に感動しました。

○午後5時まで自由に休憩。午後6時からフリートークの時間となりました。

今まで、沈黙状態のオブザーバー会員も発言の機会を得て、いろいろなお話しが飛び交い、楽しい時間となりました。この交流のお陰で、会員同志の距離が縮まり、様々なサーバス活動を知ることができました。これからの課題の一つは若者を如何にサーバスに参加させるかであり、皆で、知恵を絞っていくことになりました。フリートークは大切な時間ですね。

4. まとめ

国内外を問わず、サーバス会員の高齢化が進んでいます。「サーバスの火を消さない」という思いで、本部並びに支部の持続をはかることが大きな課題となっています。その問題を共有できた国内会議はこれからの活動への支えとなったように思えます。

「国内会議議事録」には会議の内容が詳細に、分かりやすく記載されています。しっかり、お読み頂き、協議内容、変更事項、課題等々、ご承知頂き、これからのサーバス活動が円滑に、より発展するように協力して参りましょう。

3 日本サーバス中国四国支部会 2021 年第 1 回(on zoom)に参加して

H.T.

日 時：2021 年 5 月 1 6 日 13：00～15：00

出席者：支部会員 9 名

今回、議事録と会報を書くにあたり、要点だけをかいつまんでまとめるつもりだったが、次第に興味深い内容に惹かれてゆき、気がついたら、文字起こしをしていた。

(1) オープニングゲスト（日本サーバス会長 N.S.さん）のスピーチ

スピーチの内容：「ねがい」project からサーバス入会までのいきさつ

*英語教師をしていた 2002 年当時、大阪で開かれた教育研究集会に参加。

*広島 of Y 教諭が中学 3 年生への平和の授業を続ける中で、最後にみんなに平和への思いをいろいろ書いて貰って、4 番までの歌詞が出来上がった。

*それに感銘を受けて、続きの 5 番から、歌詞を作ることを Y 先生に申し出た。

* JEARN(ジェイアーン)=NPO 教育国際交流の会の一員として、「ねがいコネクション」という project を立ち上げた。

*2003 年に淡路島の夢舞台で某国際会議の世界大会が開かれて、その舞台上、ケニア、フィンランド、イランなどいろんな国の人々が 5 番以降の歌詞を寄せてくれて、歌を歌いながら発表した。翻訳も 20ヶ国語くらい出来た。

*歌詞が 1040 番ぐらいになった時にテレビ東京も取材に来て、広島 of 比治山で“にしきのあきら”さんが、夜 11 時間何分かかけて歌い通した事もあった。

*そのプロジェクトで出会った、ケニアの牧師だった方と、もう一回、今度は環境の国際会議で会った。続いて、牧師が別のケニアの人(教師)を紹介してくれた。

*紹介してもらったケニアの人は、田舎の方に住んでいる高校の先生で、初めは印象が良くて、自分たちの感性に合っていた。2009 年、ケニアに移住。

*その教師は「自分の敷地に家を作っているよ」と。教師の敷地内に家を建てた。

*ケニアの環境→1,700メートルの高地。夜は15℃、昼間は28℃位。

*飲み水：金持ちはタンクに貯めた雨水。貧しい農民は川の汚い水。

*主食は、トウモロコシから作った「ウガリ」

*社会的に権威のあるその先生達(政治家、牧師、警察官)と、弱い立場にある農民たちとの格差に心を痛めた。

*農民たちの味方になろうと、NGOを立ち上げて農業指導を始めた。

*その矢先、エボラ出血熱が流行りだした(2013年)。

*その前の2012年ぐらいから、サーバスのことは聞いていた。

*その時の会長のOさんはケニアのサーバスに会いに来られ、行動を共にした。

*2013年に帰国した後、名古屋の国内会議の時にサーバスに入った。

質問(U.S.)：コーヒー、おいしいじゃないですか？ケニアの皆さんコーヒー飲んでますか？

答：今人気があるのは、紅茶です。換金できるお茶の葉を作ってる。

答：紅茶のプランテーションの前は、コーヒーだったのです。そのコーヒーの木が残っていて、実を摘んで飲んだらとてもおいしかった。キリマンジャロ種ですね。

質問(U.S.)：ヘミングウェイの「キリマンジャロの雪」って本があるから、憧れますよね。

答：マサイマラのような自然保護区じゃないと、ライオンとかキリンとかの動物は身近にはいないんですけども、シマウマとかは、ナイロビに行く途中に自然に見かけます。

*N会長さんが何かを変えられるかもしれないきっかけ”を敏感にキャッチなさる、その知的好奇心に驚きました。快適生活 zone から抜け出そうとしない、私には刺激になりました(H)

(2) 支部長(U.T.)より国内会議・拡大本部役員会報告ほか

メールで呼びかけられて、国内会議の報告も、拡大ズーム会議の相談も既に受けていたけれど、こうやって一つ一つ担当者の話を聞くと、サーバス会員としてしっかり認識しておこうと自覚できました。国内のLOIについて：賛否が分かれた。

(3) 企画より(H.T.)提案と呼びかけ

今年中に、「リモート碑めぐり」を作ってはどうでしょうか、と呼びかけた。

- ① 原爆に関する碑について、
- ② 戦争に関する碑について、
- ③ 自然災害に関する碑について、

例として、PowerPointによる「1945年9月17日の枕崎台風と京都大学の被爆者治療・研究班員11人の遭難の碑」の紹介と説明をした。

内容：1945年9月17日、鹿児島県枕崎市を通過した巨大暴風と豪雨が広島県を直撃した。当時、京都大学研究班55名が、被爆者治療と調査の為に廿日市市大野町の高台にある陸軍病院に宿泊していた。9月17日の夜、山津波、土砂崩れが発生し、11名の京大の研究者と残りの被爆者で、合わせて156名の方が犠牲になった。のちに枕崎台風と呼ばれた。

*果たして今の若い世代に伝わるだろうか？ そして他にも自分の住んでいる身近に、自然災害や戦争などの過ちを思い起こす碑があるのではないか、それを会員が探して1つか2つ持ち寄りましょう、と言う提案です。

(4) 会計より (K.K.) (5) 広報より (S.Y.)

手短かに述べて下さって、さ、さっとまとめることができました。全てこうであって欲しい。

(6) ホストコーディネーターより (U.S.)

わかっているようで新しいやり方になっていることに戸惑うこともあるから、改めて気がつくと言う再認識の議案でした。事前に資料を添付送信して下さっていたので新入会員だけでなく、私たち今までの会員にも、復習になりました。

4 コロナ禍で始めたこと

こんな時だからこそ

M.T.

我が国において拡大する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のため、これまでの生活は様変わり、大きな転換期を迎えることとなりました。サービスの ICT 変革同様、技術者・研究者分野においても学会活動、国際会議の多くがリモート、ハイブリッド形式で開催される状況となっています。従来の対面による直接交流、情報交換の重要性は当然に再認識されますが、オンライン形式には国内外を問わず参加できる等、利点も多くあり、コロナ禍で始まり今後も続く様々な技術革新リテラシーを身につけるべき機会として前向きに受け止めたいと思います。個人的には、当面はこれまで以上に家族とのコミュニケーションを楽しみながら、貯め置き論文の処理の促進、買い置き書籍の読み直しによる新たな発見、また断捨離などによる生活様式の見直し・模索等に増加するステイホーム（お家時間、在宅時間）を有効活用して、コロナ禍を生活革新・成長・進化につなげる好機としていこうと思う日々です。感染終息がいつになるのか不透明な状況ではありますが、これからもサービス支部会員の方々の進取の取り組み・情熱を良き刺激として、会員の方々の交流を大切にしたいと思っています。



月下美人

エールからエールを！

N.M.

「泣いて生まれて響く命〜♪」これはNHK朝ドラ「エール」の主題歌です。ヒロイン役の二階堂ふみさんが、4月9日放送の「徹子の部屋」で、何と！「山口県周南市保健所から2匹の保護犬を引き取りました」と言っておられるのを聞いて我が耳を疑いました。なぜなら私もコロナ禍の同じ時期に同じ場所から保護犬を引き取り、偶然にも「エール」と名付けて育てていたからです！！

動物好きの私は、殺処分前のワンコたちの悲痛な叫びに、いつも胸を痛めていました。しかし、常に国内外を飛び回っていた私には、犬の命を預かるなんて到底不可能な事と諦めていました。

ところが何と！このコロナ禍です！常に在宅・外出自粛のコロナ禍の日々が、皮肉にも殺処分保護犬を救い出すまたと無いチャンスとなったのです。

家族に迎えた当初は豆粒のようだったエールも、月齢8ヶ月の今は飛び上がると私の身長を越えるほどに成長しました。（かなり予想外の大きさ、、、）精悍な顔付きと体格に似合わず大変な臆病犬で、風の音にもぶるぶる、人の足音にもぶるぶる、車の音など以ての外。幸い我が家の裏庭はかなり広いので、お散歩デビューの日まではここが彼の練習場。その俊足ぶりには目を見張るものがあり、カール・ルイスも真っ青!?

おかげで元気いっぱいのエールを追っかけ回しながら一日の大半を庭で過ごす日々が続いています。気が付けば、スマートウォッチの歩数が17,000歩越えだったり、あまり見上げることが無かった星空に心奪われたり、足を踏み入れることがなかった裏庭の木々や花々にも心を動かされたり、夜更かし得意の私がエールの就寝時間に合わせて早寝早起きにもなりました。

このような生活の変化はすべてエールからの熱い「エール！」だと思っています。預かったこの可愛い「命」を大切に私もエールに日々熱い「エール！」を送り続けたい！そのためにも彼が人生（犬生）を全うする日まで、絶対に長生きをしなければ！と誓うコロナ禍の日々です。



5 新入会員紹介

2021年度よりK.T.さんとT.M.さんのお二人が入会されました。よろしくお願いいたします。

K.T.

長く中・高校で地理を教えています。特に地図に魅了されます。今はライフワークにするべく、デジタル地図作成のノウハウを習得中です。そしていろいろな国とその地に住む人に出会いたいです。未知の土地、人々に思いをはせるのが大好きです。

T.M.

はじめまして。T.M.です。広島市在住で、学校の教員をしています。3人の子ども達の家を離れ、この春退職して大学院生になった夫と二人暮らし。です。サーバスを通じて自分の世界が広がることを期待しています。

6 お知らせとお願い

- 1) 今後の予定：次回の支部会は**2022年1月16日（日）**に予定していますので、カレンダーにチェックをお願いします。それまでに企画に関する例会が開かれる可能性もありますが、その時は協力をお願いします。
- 2) 編集委員より：なんとか会報を完成することができました。パソコンにあまり詳しくはないので、Uさんにアドバイスをもらったり、旦那に聞いたりして、会報ができました。コロナ禍で新しくできることが増えたことにうれしく思います。(S.Y.)

(Y作)

